

第111回（令和4年12月21日） 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード	資料3-7
藤井先生提出資料	

現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

1 陽性者数等の推移

P3~14

2 入院・療養状況

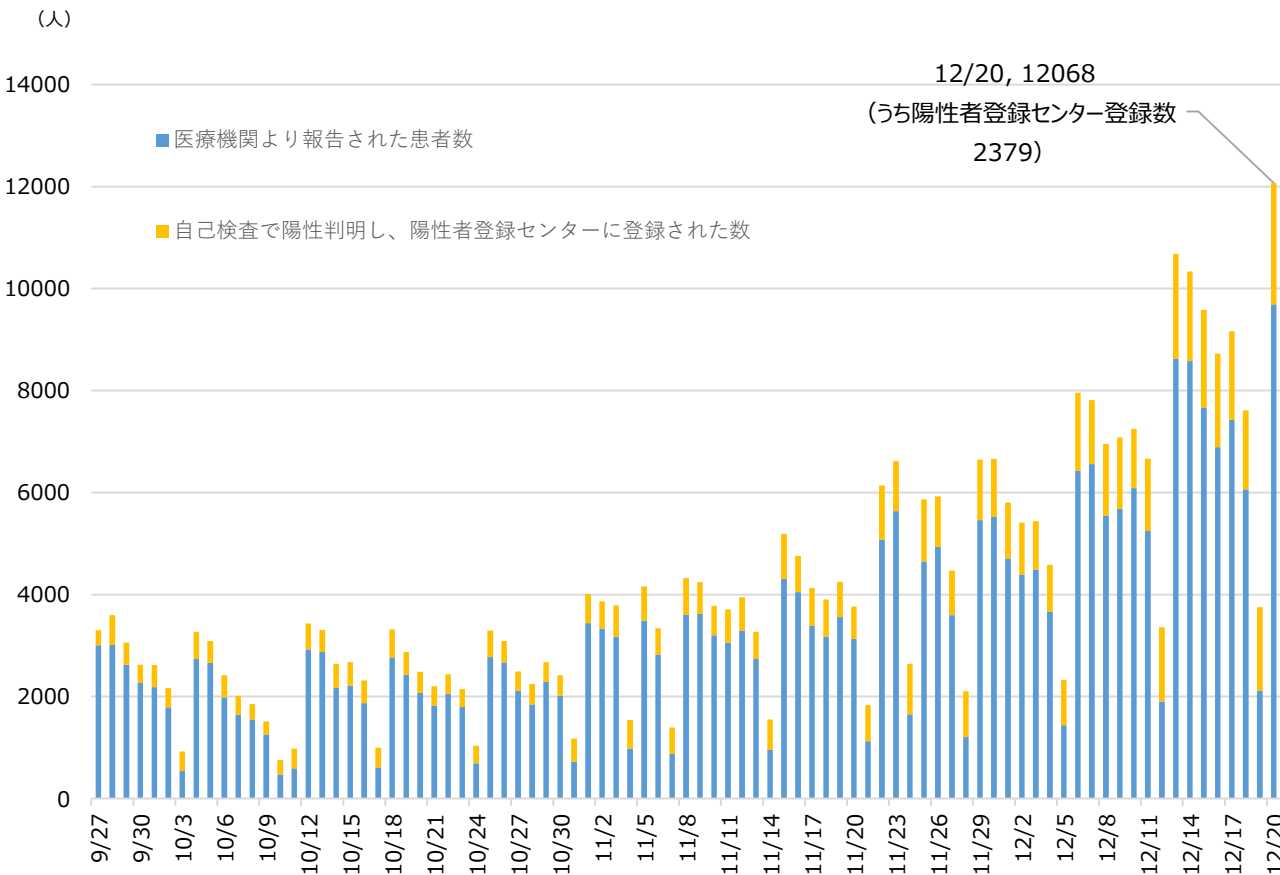
P15~22

1 陽性者数等の推移

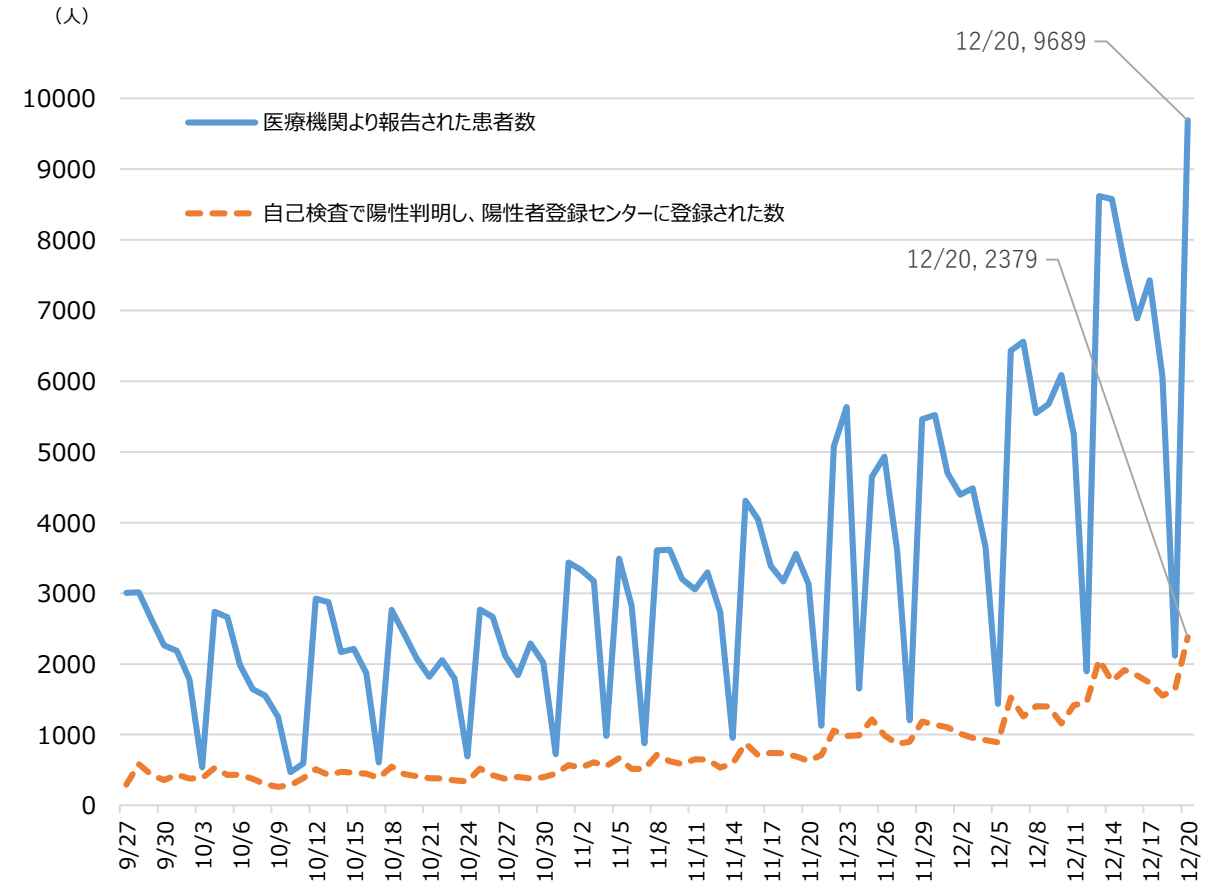
陽性者数の推移（12月20日時点）

◆ 新規陽性者数は、増加傾向が続いており、12月20日は12,000人を超過。
医療機関より報告された患者数及び陽性者登録センター登録数もともに増加が続く。

【新規陽性者数】



【新規陽性者数の内訳（医療機関より報告された患者数、陽性者登録センター登録数）】

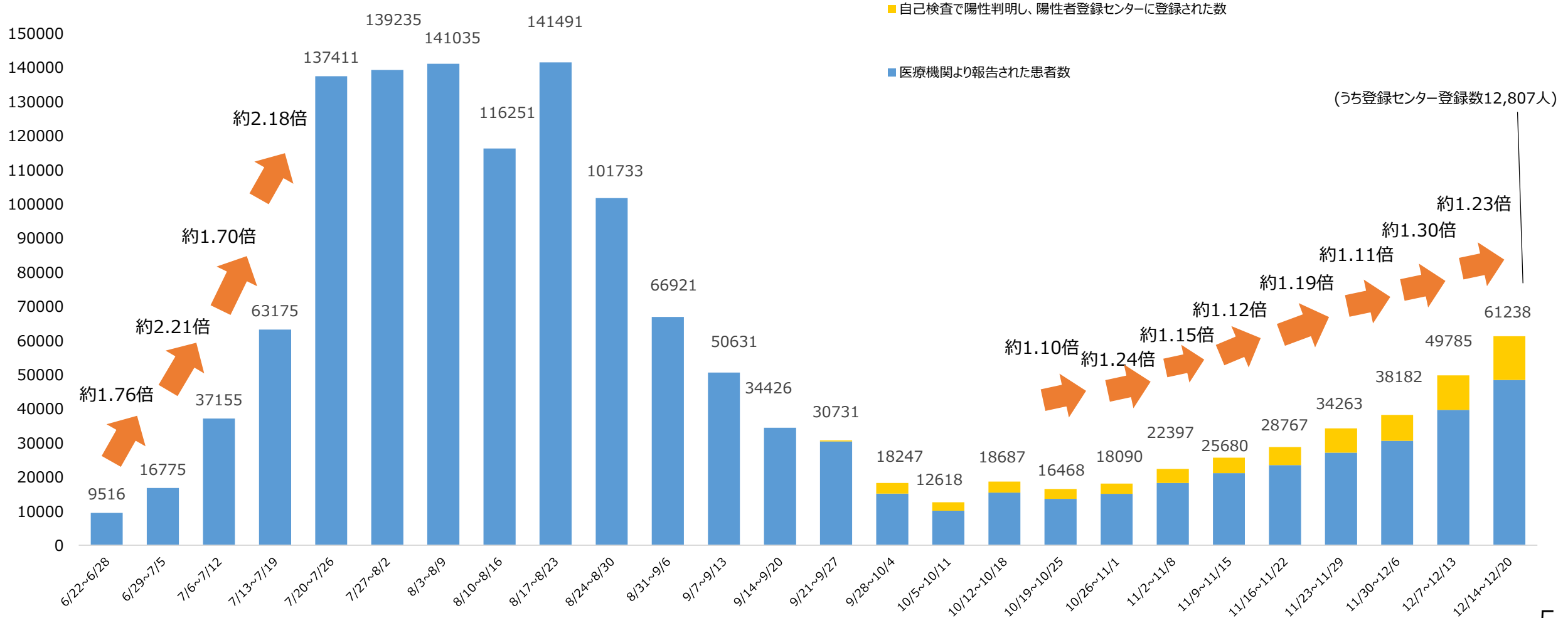


※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は、医療機関より報告された患者数及び大阪府陽性者登録センター登録数の合計

7日間毎の新規陽性者数(12月20日時点)

◆ 直近1週間の新規陽性者数は、増加傾向が続いており(1日平均約8,748人)、8週連続で増加。

(人)



新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移(12月20日時点)

上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 新規陽性者数の前週同曜日増加比1を超過した状態が継続。

	日	月	火	水	木	金	土	
10月	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	2,167 (0.48)	922 (0.41)	3,268 (0.99)	3,090 (0.86)	2,417 (0.79)	2,016 (0.77)	1,849 (0.71)	15,729 (0.72)
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	1,515 (0.70)	755 (0.82)	976 (0.30)	3,434 (1.11)	3,305 (1.37)	2,643 (1.31)	2,674 (1.45)	15,302 (0.97)
	16	17	18	19	20	21	22	週合計
	2,318 (1.53)	999 (1.32)	3,314 (3.40)	2,876 (0.84)	2,483 (0.75)	2,204 (0.83)	2,432 (0.91)	16,626 (1.09)
	23	24	25	26	27	28	29	週合計
2,145 (0.93)	1,034 (1.04)	3,294 (0.99)	3,088 (1.07)	2,494 (1.00)	2,245 (1.02)	2,670 (1.10)	16,970 (1.02)	
11月	30	31	11月1日	2	3	4	5	週合計
	2,415 (1.13)	1,171 (1.13)	4,007 (1.22)	3,866 (1.25)	3,781 (1.52)	1,535 (0.68)	4,159 (1.56)	20,934 (1.23)
	6	7	8	9	10	11	12	週合計
	3,341 (1.38)	1,390 (1.19)	4,325 (1.08)	4,244 (1.10)	3,780 (1.00)	3,709 (2.42)	3,944 (0.95)	24,733 (1.18)
	13	14	15	16	17	18	19	週合計
	3,268 (0.98)	1,547 (1.11)	5,188 (1.20)	4,754 (1.12)	4,126 (1.09)	3,904 (1.05)	4,249 (1.08)	27,036 (1.09)
	20	21	22	23	24	25	26	週合計
3,764 (1.15)	1,834 (1.19)	6,136 (1.18)	6,615 (1.39)	2,644 (0.64)	5,868 (1.50)	5,923 (1.39)	32,784 (1.21)	

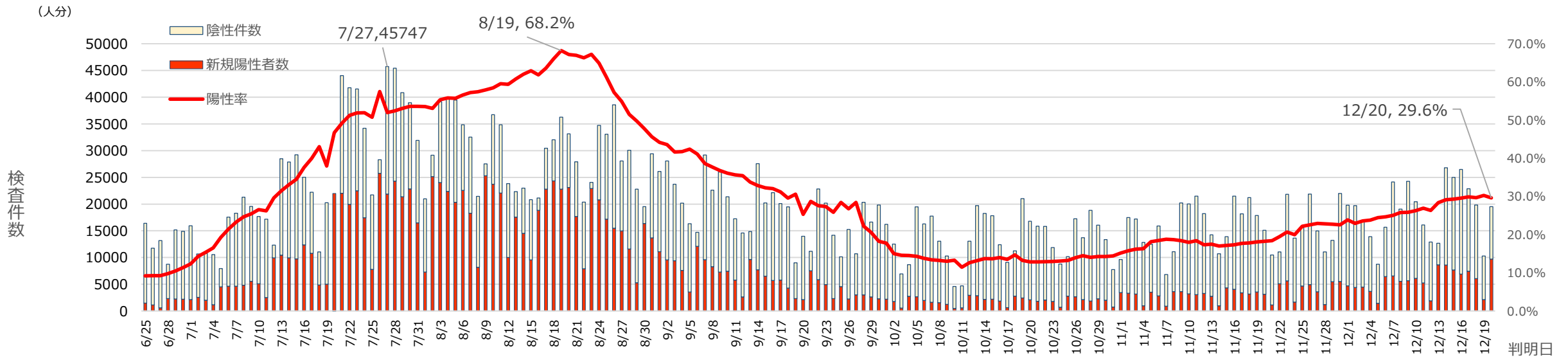
	日	月	火	水	木	金	土	
12月	27	28	29	30	12月1日	2	3	週合計
	4,465 (1.19)	2,102 (1.15)	6,646 (1.08)	6,661 (1.01)	5,806 (2.20)	5,409 (0.92)	5,443 (0.92)	36,532 (1.11)
	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	4,582 (1.03)	2,326 (1.11)	7,955 (1.20)	7,815 (1.17)	6,950 (1.20)	7,076 (1.31)	7,247 (1.33)	43,951 (1.20)
	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	6,663 (1.45)	3,355 (1.44)	10,679 (1.34)	10,334 (1.32)	9,585 (1.38)	8,725 (1.23)	9,161 (1.26)	58,502 (1.33)
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
7,612 (1.14)	3,753 (1.12)	12,068 (1.13)						

検査件数と陽性率（12月20日時点）

◆ 陽性率は12月20日時点で29.6%で、増加傾向。

12月5日～11日の1週間における陽性判明率は、自費検査は4.7%と減少したが、無料検査は5.1%と増加傾向。

【行政検査】



※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は医療機関より報告された患者数

※令和4年9月27日以降の陽性率の算出方法は以下のとおり
分子：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった患者数の合計
分母：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった検査件数の合計

【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
11/21～11/27	2,927 件	131 名	4.5 %
11/28～12/4	3,071 件	174 名	5.7 %
12/5～12/11	3,846 件	181 名	4.7 %

【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
(ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計)

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
11/21～11/27	67,008 件	2,520 名	3.8 %
11/28～12/4	61,031 件	2,643 名	4.3 %
12/5～12/11	62,273 件	3,201 名	5.1 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。

※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、のいずれで陽性となったかは区別ができない。)

発熱外来ひっ迫判断の参考指標の状況

- ◆ 発熱外来ひっ迫判断の参考指標については、いずれも目安を超過していないものの、注視が必要。
(第七波では、外来ひっ迫と病床ひっ迫(大阪モデル赤信号点灯)がほぼ同時期に生じた。)

発熱外来ひっ迫判断の参考指標 (R4.9.14 第81回対策本部会議決定)

※次の指標をもとに総合的に判断する

指標	目安	現在の状況 (12月20日時点)
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 (HER-SYSに登録があった者に限る)	1,000人超	549人
1週間平均陽性率 (HER-SYSに登録があった数を分子とする)	50%超	29.6%
医療機関における検査数の1週間平均	30,000件超	23,369件

感染急拡大時の対応

①発熱外来

セルフ検査等の活用について呼びかけ強化
発熱外来の受診対象の重点化
休日診療所等における発熱外来実施

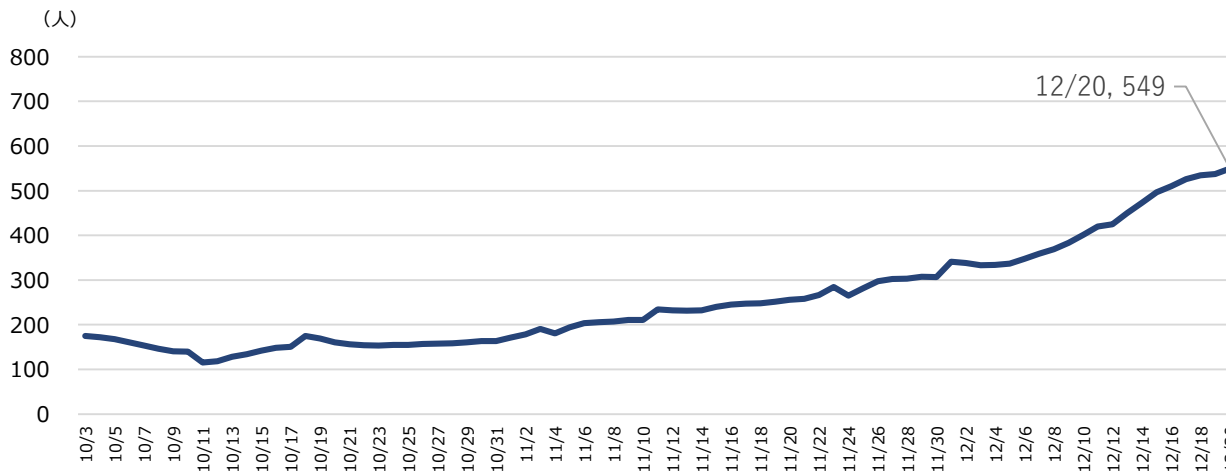
②健康FC

登録者増に備えて自宅待機SOS等の体制を拡充

③自宅療養者 支援

オンライン診療・往診センターの体制を拡充

【直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数】
(医療機関より報告された患者数より算出)



【参考】第七波における参考指標(現指標を当てはめた場合)と
大阪モデルステージ移行の状況

外来ひっ迫判断参考指標	目安を満たした日
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 (HER-SYSに登録があった者に限る)	7月22日
1週間平均陽性率 (HER-SYSに登録があった数を分子とする)	7月22日
医療機関における検査数の1週間平均	7月24日
大阪モデル	目安を満たした日
赤信号(非常事態)	7月27日

ゲノム解析による変異株の検出状況

直近1週間（12/12-12/18）における検出割合

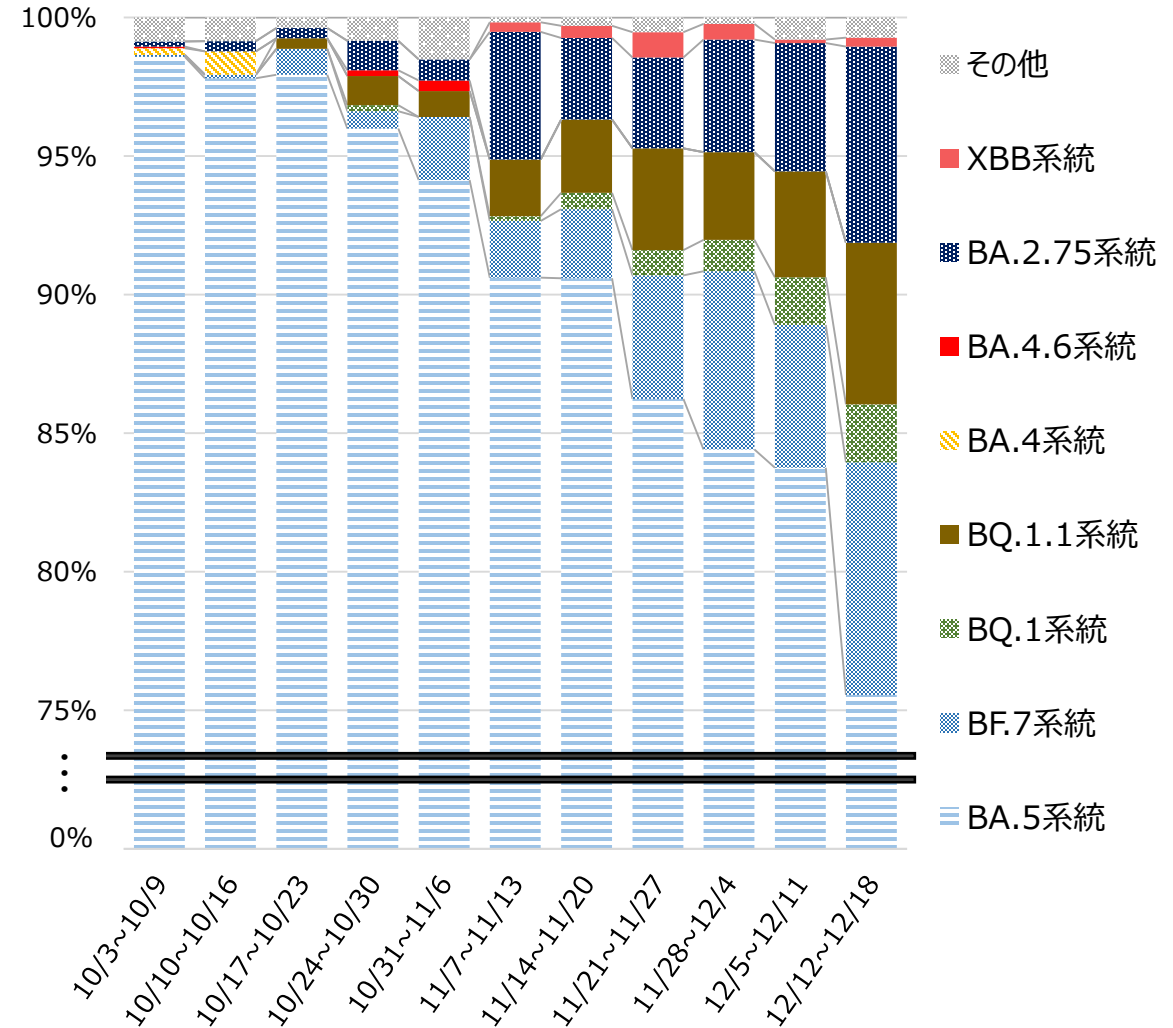
亜系統 pango lineage	解析件数	検出割合
累計	1,644 件	—
BA.2.75系統	108 件	6.6 %
BA.4系統	0 件	0 %
BA.4.6系統	0 件	0 %
BA.5系統	1153 件	70.1 %
BF.7系統	128 件	7.8 %
BQ.1系統	32 件	2.0 %
BQ.1.1系統	89 件	5.4 %
XBB系統（組換え体）	4 件	0.2 %
その他（BA.2系統等）	12 件	0.7 %
判定不能	118 件	7.2 %

子孫亜系統の件数を含む。（例）BA.2.75系統 → BA.2.75.3.1等を含む

（※）BA.4とBA.4.6は別々に計上

（※）BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上

週別の検出割合（判定不能を除く）

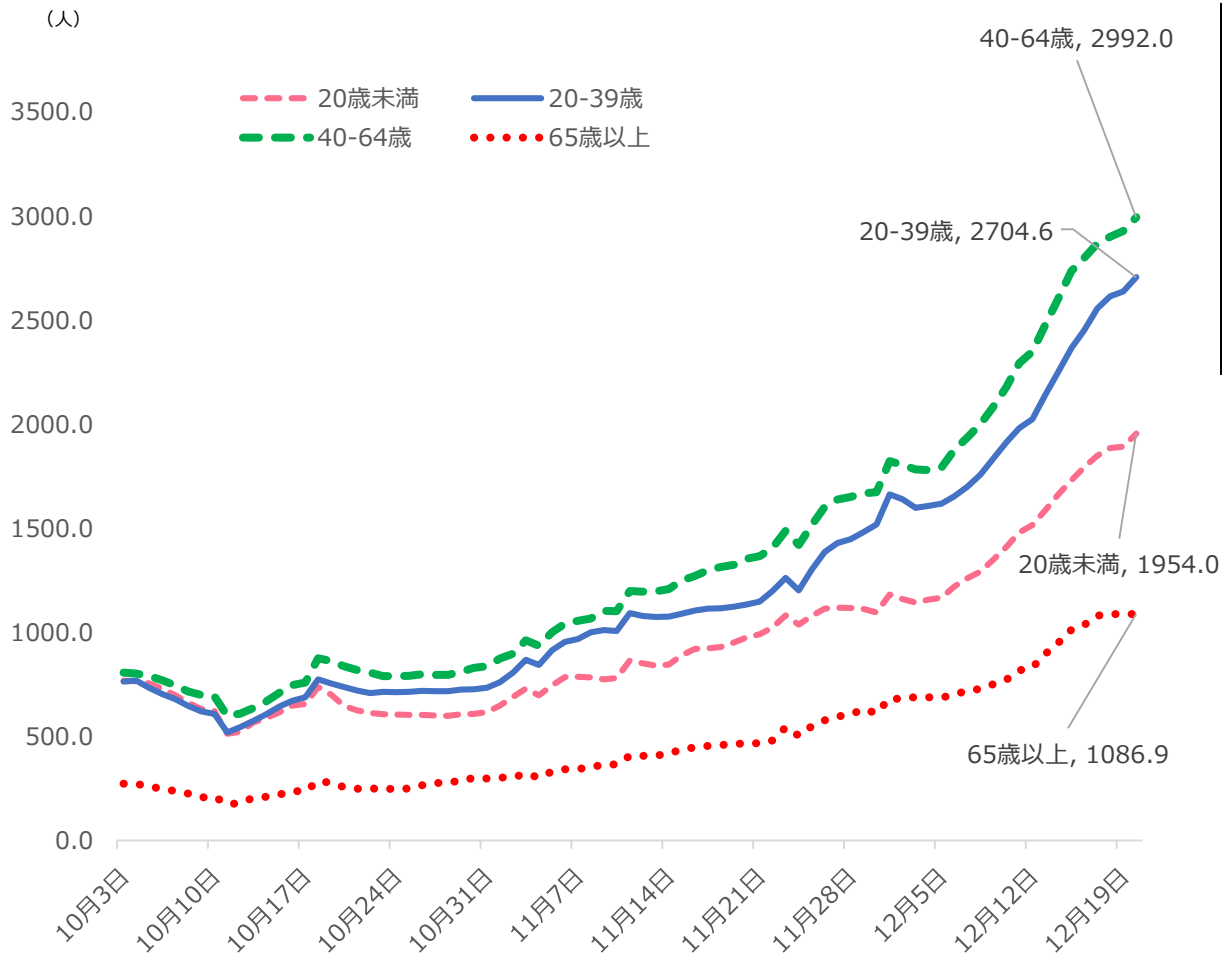


※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしているため、変異株スクリーニング後の全検体に対して実施しているわけではない。

陽性者の年齢区分（12月20日時点）

◆ 直近の年代別新規陽性者数は、全年代で増加が続いている。

【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）】



【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

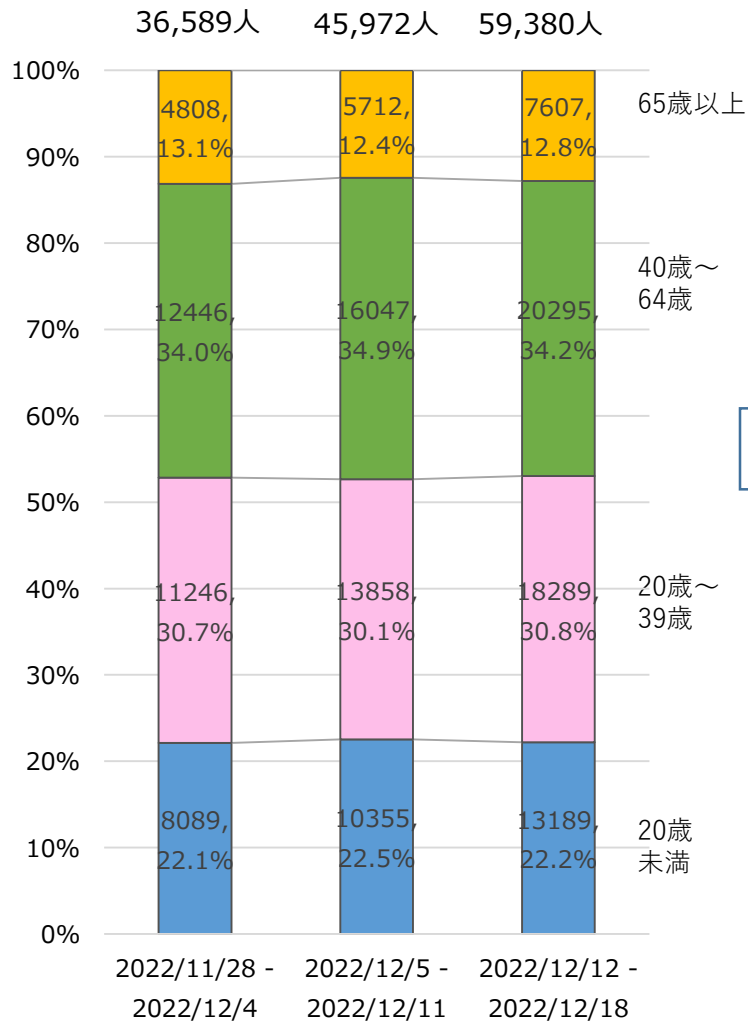
	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
20歳未満	1.05	1.05	1.02	1.05	1.05	1.04	1.04	1.03	1.02	1.00	1.03
20~39歳	1.04	1.04	1.02	1.06	1.05	1.05	1.04	1.04	1.02	1.01	1.03
40~64歳	1.05	1.05	1.02	1.06	1.05	1.05	1.02	1.02	1.01	1.01	1.02
65歳以上	1.03	1.06	1.02	1.08	1.06	1.07	1.02	1.04	1.01	1.00	1.00

前日増加比が1を超過した日

陽性者の年齢区分(12月18日時点)

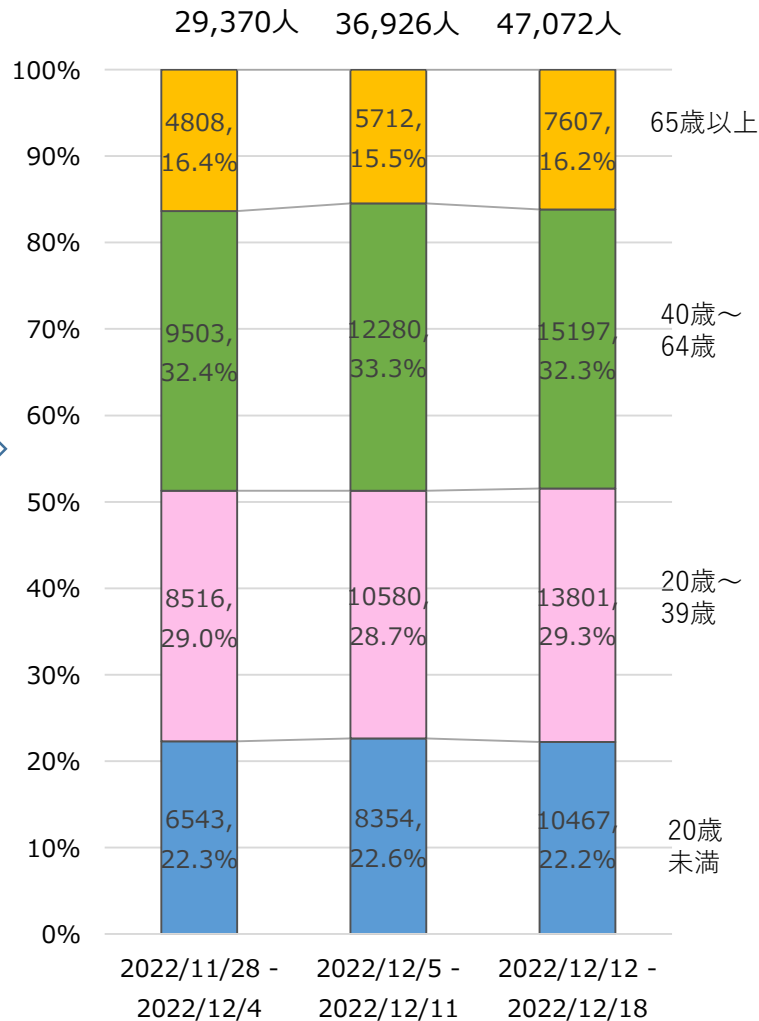
◆ 陽性者の年齢区分は、前週と同傾向。

■ 全陽性者 (①+②)

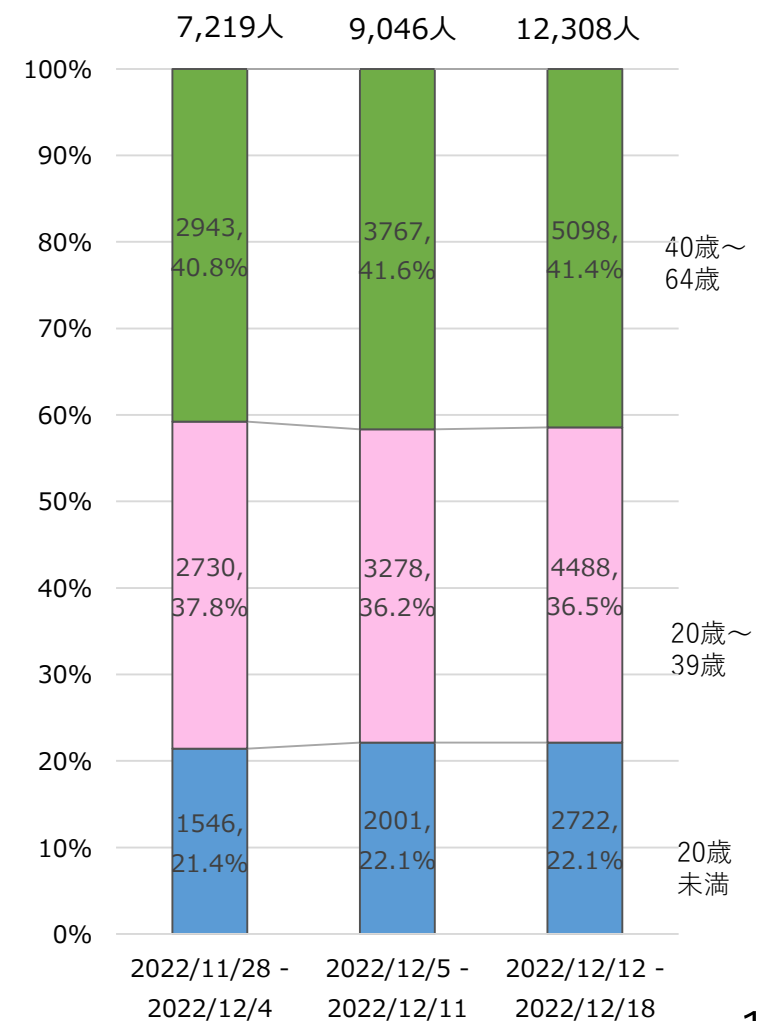


内訳

① 医療機関から報告された患者



② 自己検査で陽性判明し、陽性者登録センターに登録された患者

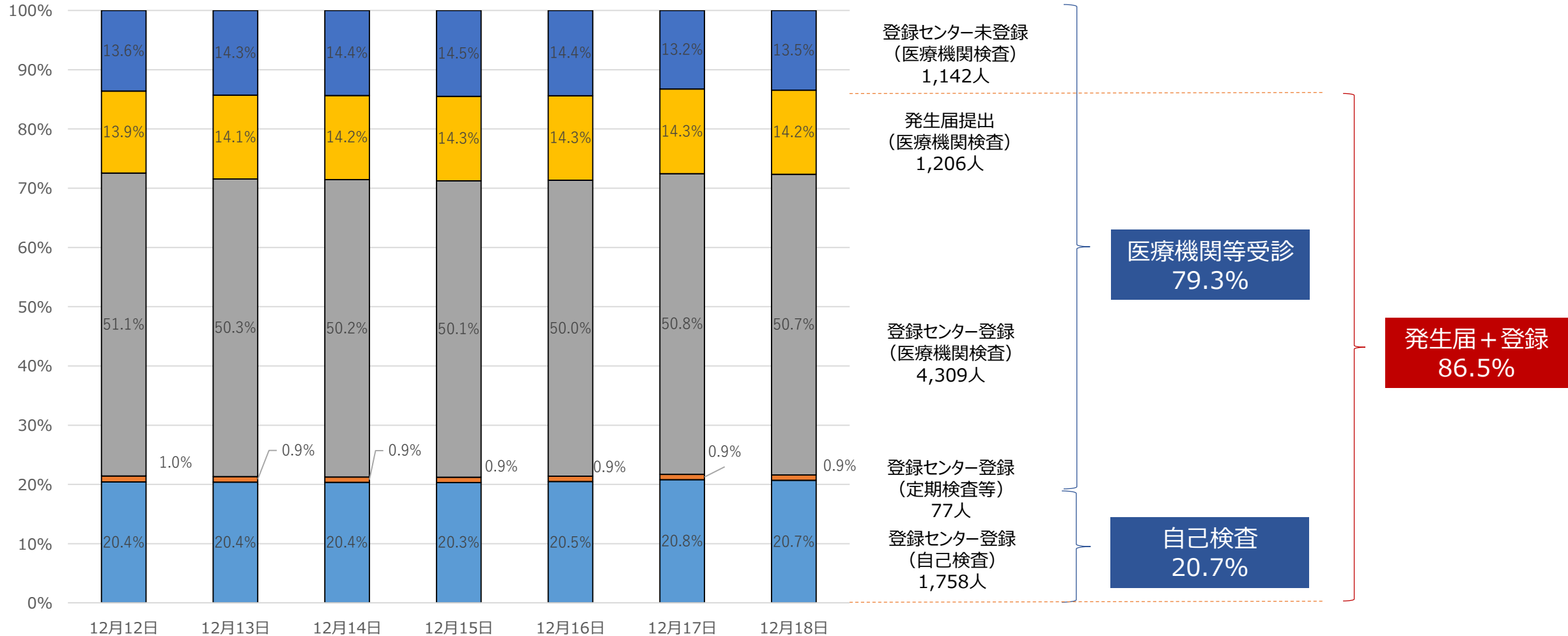


※年齢不明を除く。

新規陽性者数の内訳（直近7日間移動平均）（12月18日時点）

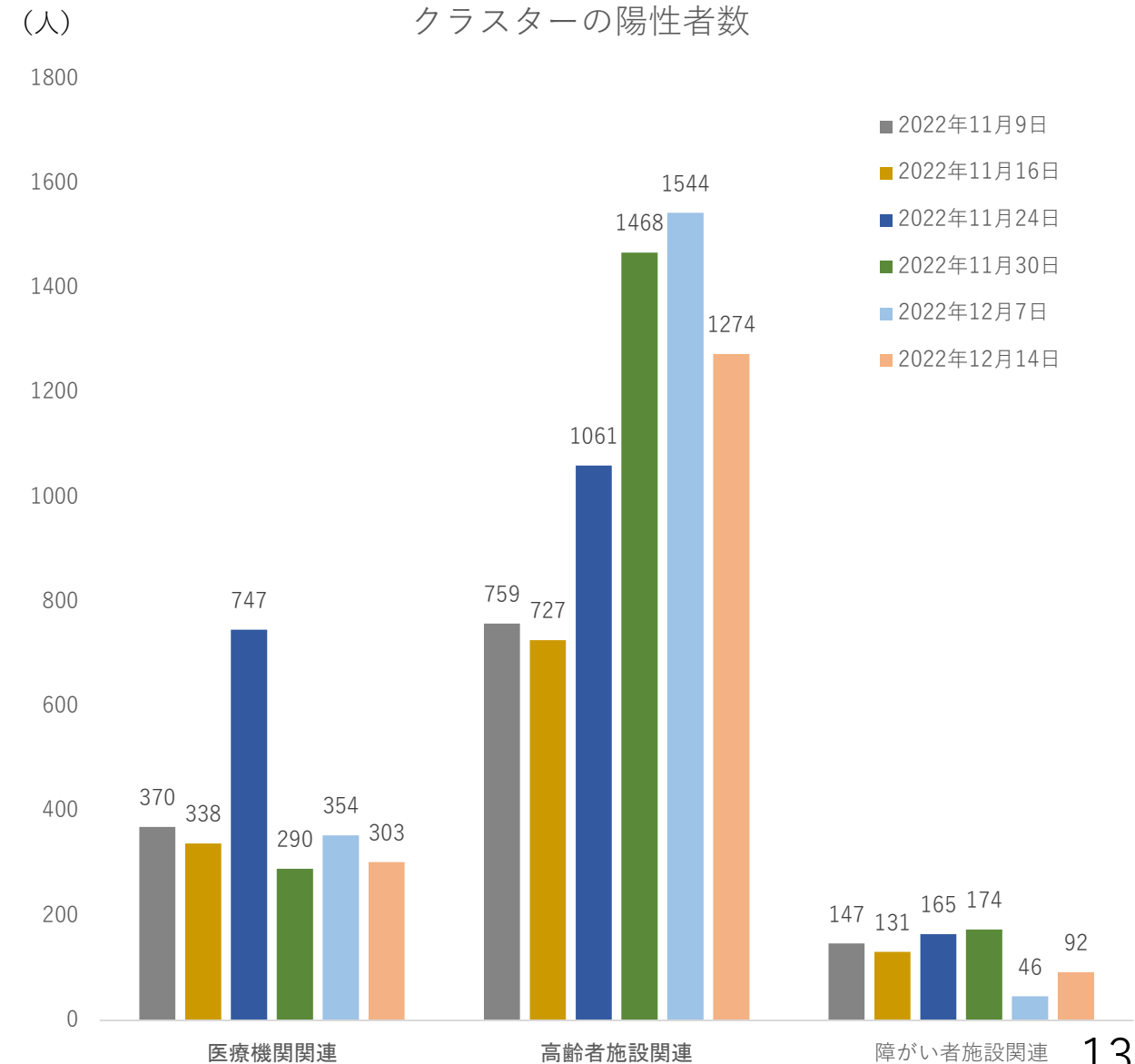
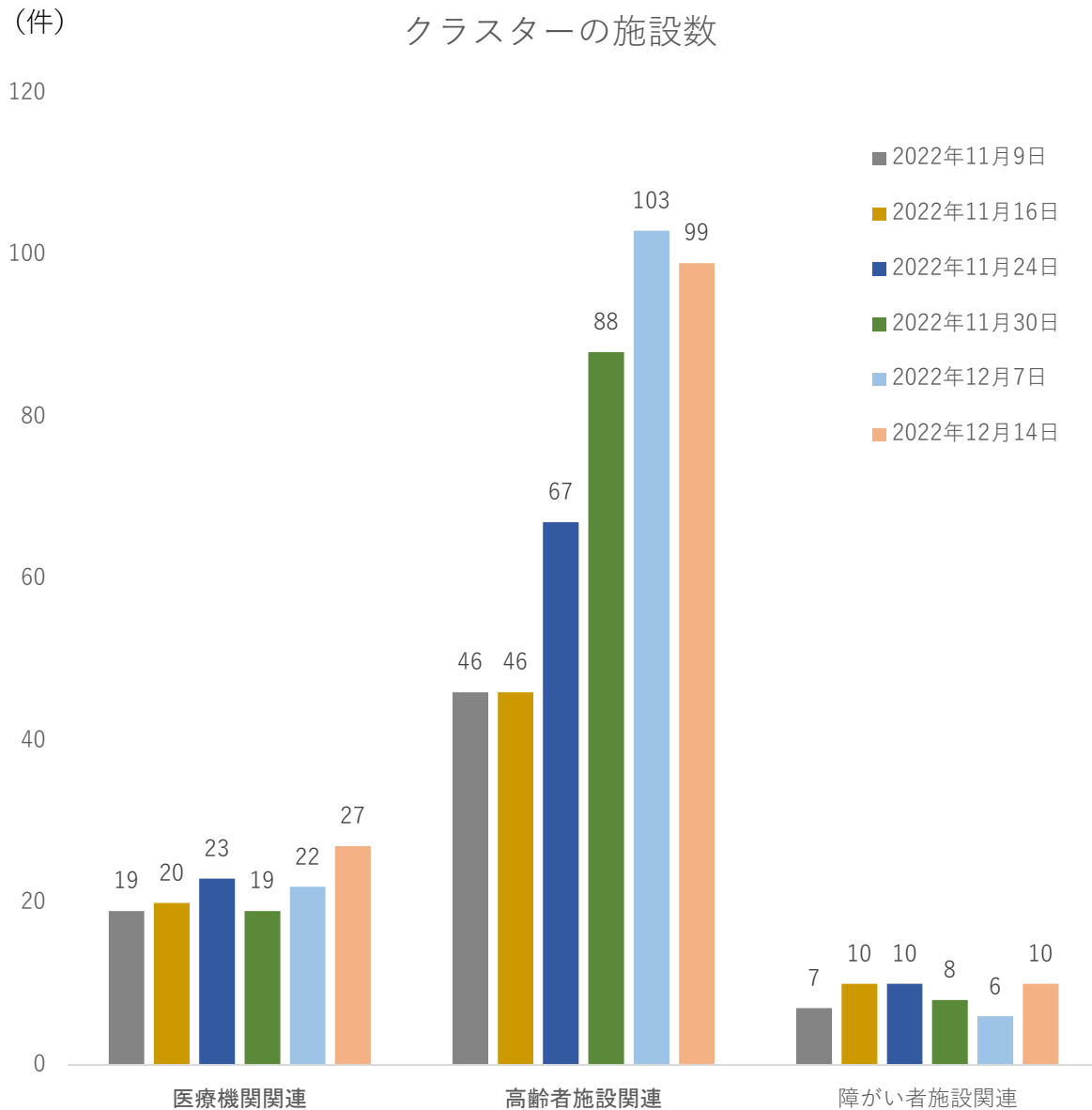
◆ 新規陽性者（直近7日間移動平均）のうち、発生届対象は14.2%（1,206人）。
自己検査を実施し陽性者登録センターに登録した方は、20.7%（1,758人）でほぼ横ばいで推移。

新規陽性者数の内訳



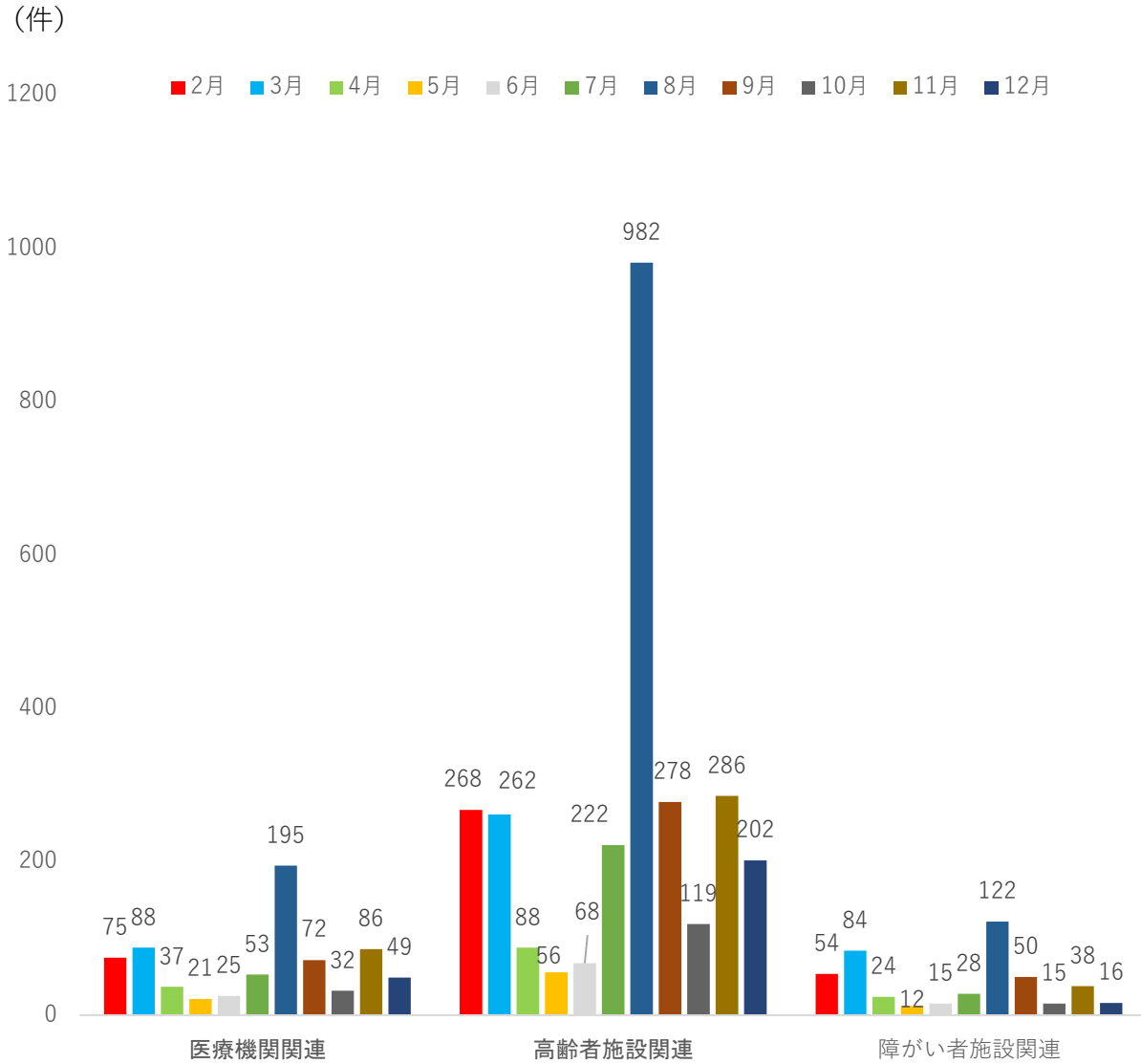
クラスター状況【実数】（直近6週 週単位）（12月14日公表時点）

◆ 11月以降、高齢者施設では週を追うごとにクラスターの1週間あたりの発生数が増加（直近1週間は先週と同程度）。

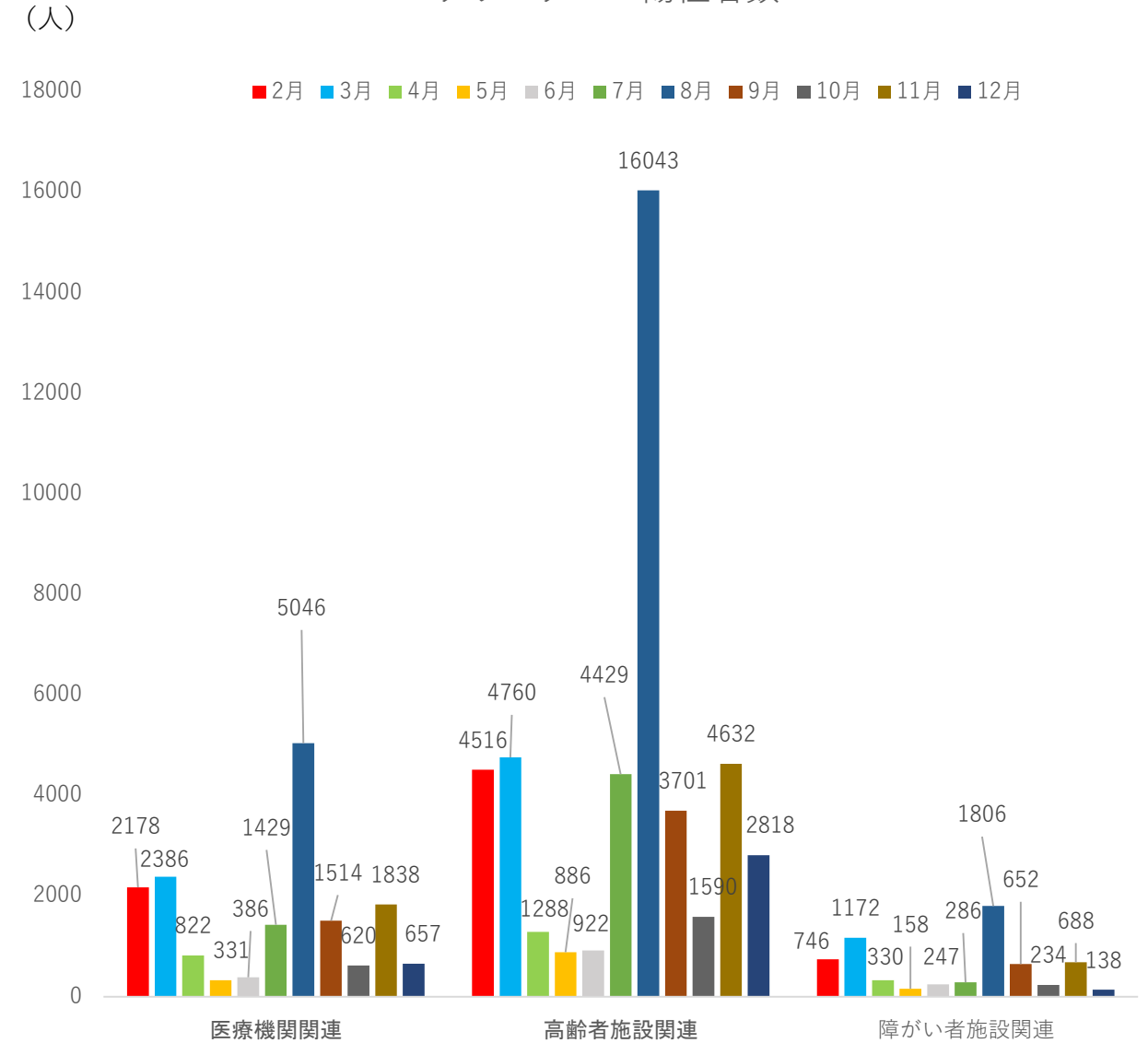


クラスター状況【実数】（公表日別 月単位）（12月14日公表時点）

クラスターの施設数



クラスターの陽性者数



※8～12月は収束していないクラスターを含む。また、オミクロン株は感染性が高いため、規模の大きいクラスターが一部存在。

2 入院・療養状況

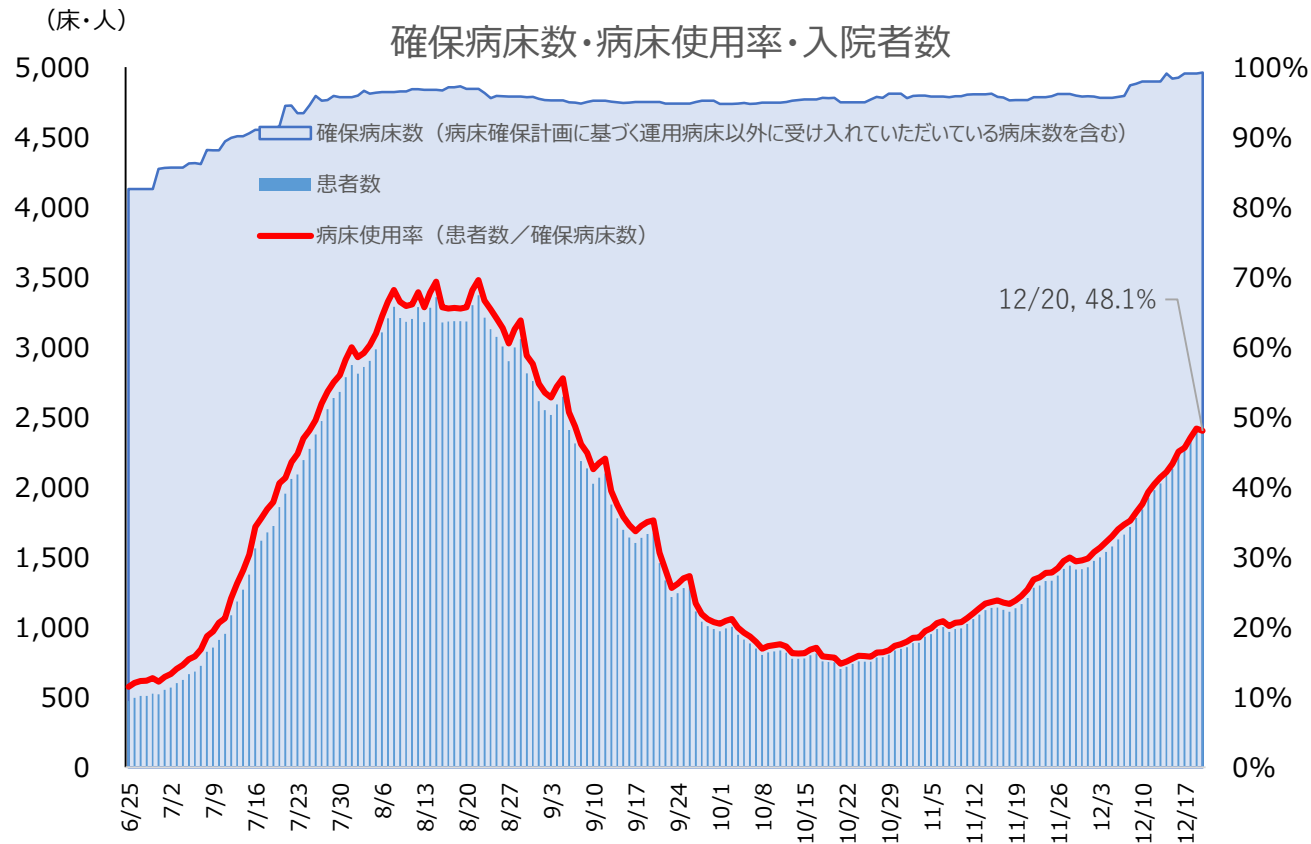
◆ 病床使用率は、12月20日時点で48.1%と増加傾向が続く。(大阪モデル「非常事態」の目安は50%)

● 確保病床と使用率

12月20日現在 **病床使用率48.1%**

病床数 4,963床 入院患者数 2,385人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数110床を含める



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 重症病床使用率（コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を除く）は、12月20日時点で8.6%と増加傾向。

● 確保病床と使用率

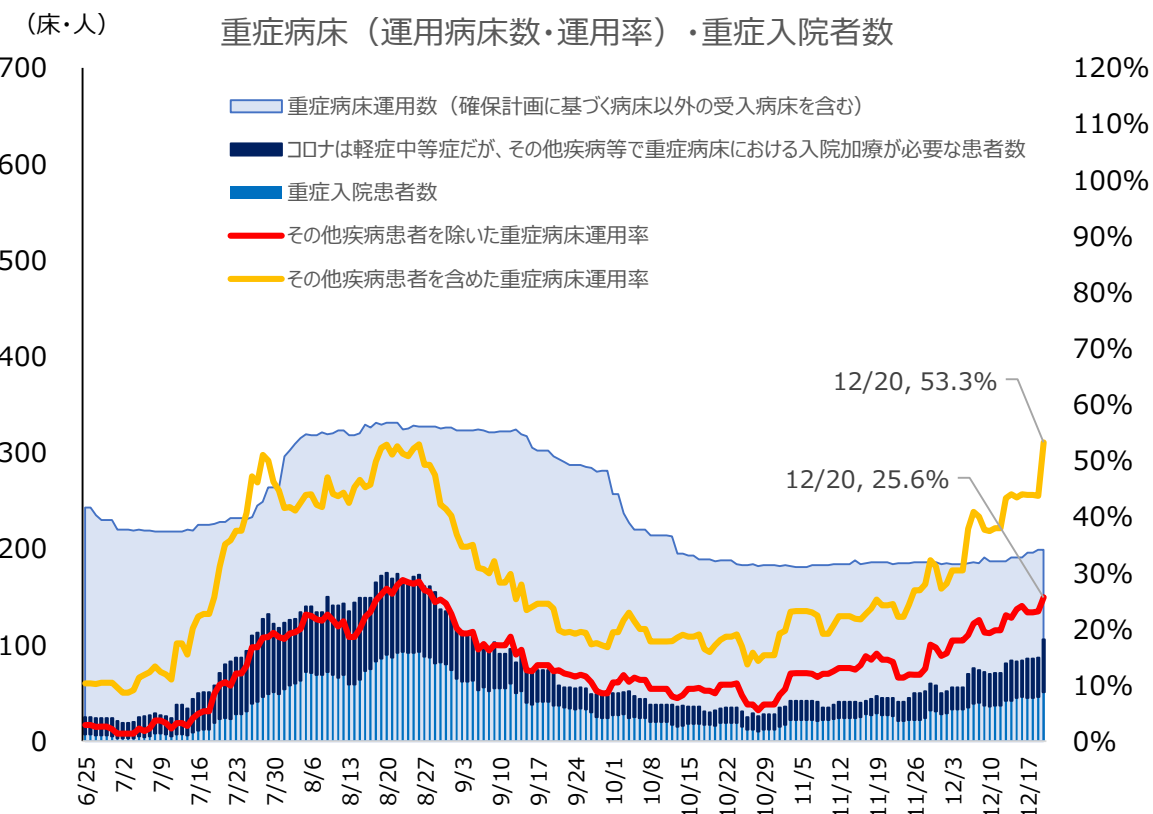
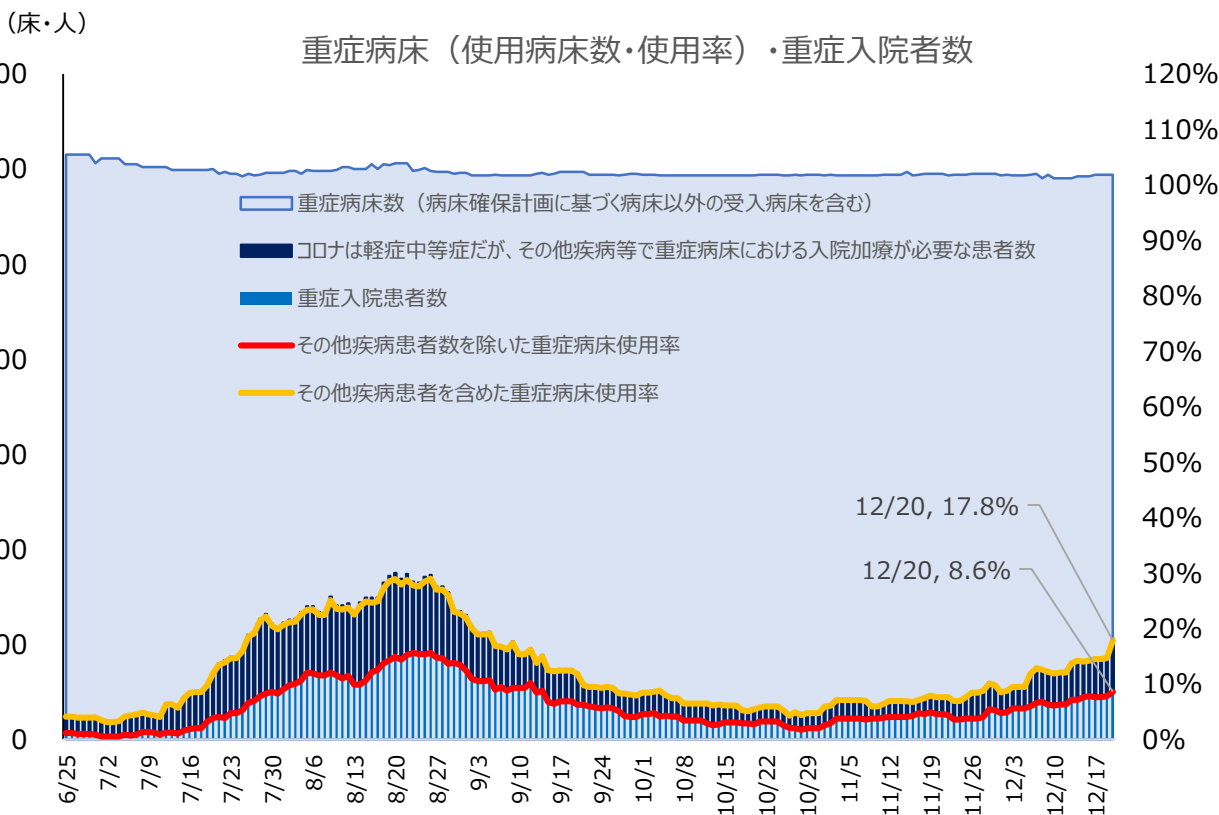
12月20日現在 **病床使用率8.6% (17.8%)**
病床数 594床 入院患者数 51人 (106人)

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数5床を含める
 ※ () の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数55人を含めた場合の率と患者数

● 運用病床と運用率

12月20日現在 **病床運用率25.6% (53.3%)**
運用病床数 199床 入院患者数 51人 (106人)

※左記に同じ



※12月20日、受入医療機関に対し、重症病床のフェーズ2（230床）への移行（同日付）を通知

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

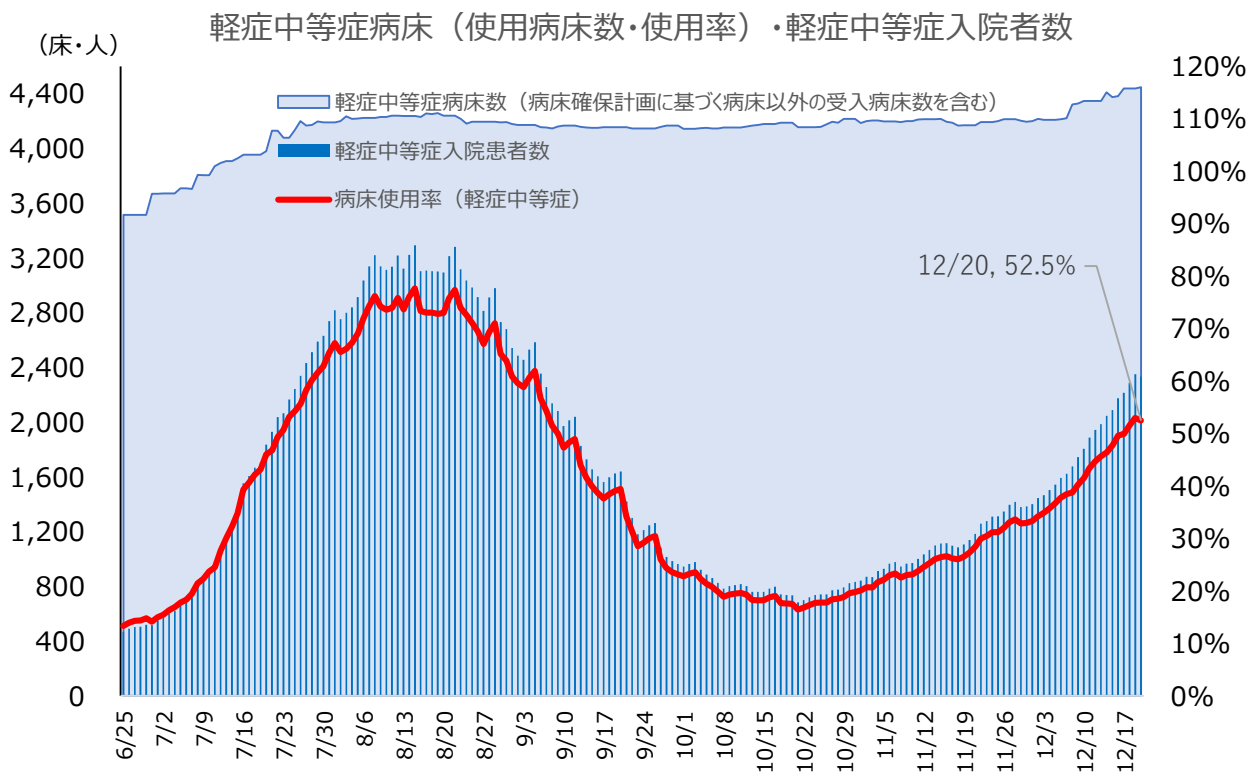
◆ 軽症中等症病床使用率は、12月20日時点で52.5%と増加傾向。

● 確保病床と使用率

12月20日現在 **病床使用率52.5%**

病床数 4,447床 入院患者数2,334人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数105床を含める
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数55人を含める。

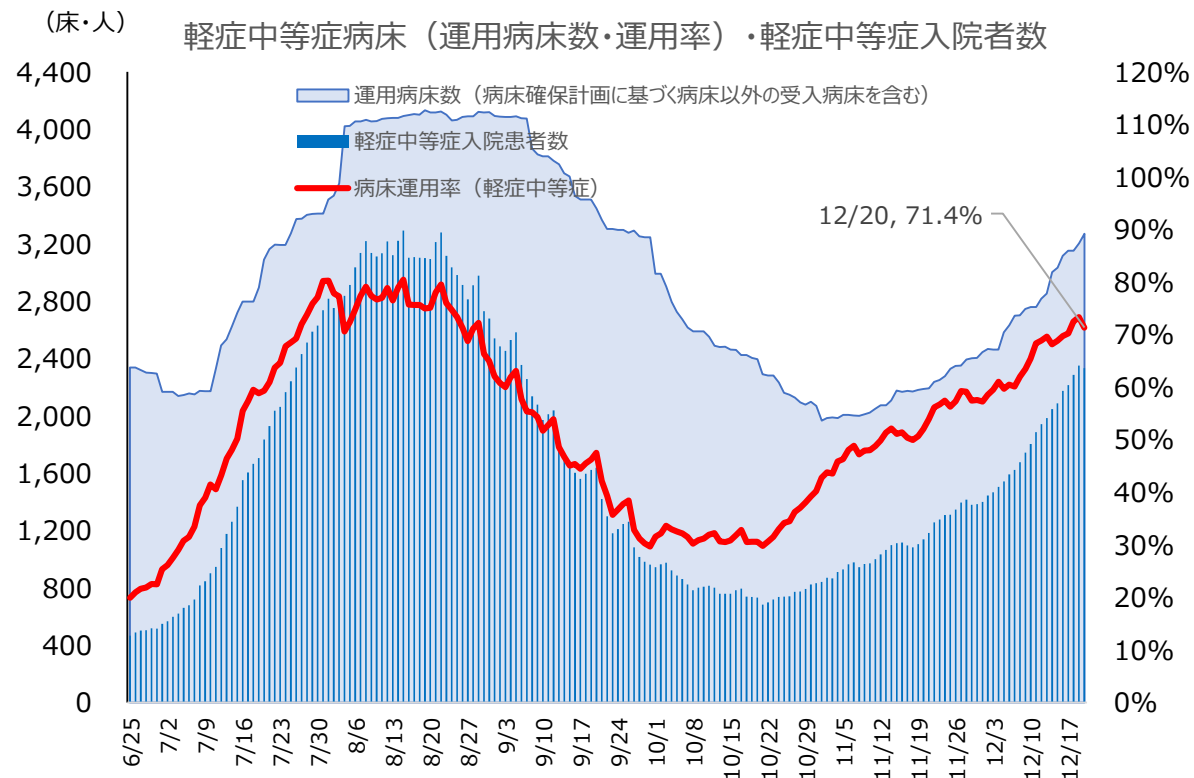


● 運用病床と運用率

12月20日現在 **病床運用率71.4%**

運用病床数 3,271床 入院患者数2,334人

※左記に同じ



※12月20日、受入医療機関に対し、軽症中等症病床のフェーズ5（緊急避難的確保病床を含む（4,350床））への移行（1月6日～1月31日）を通知18

新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者数

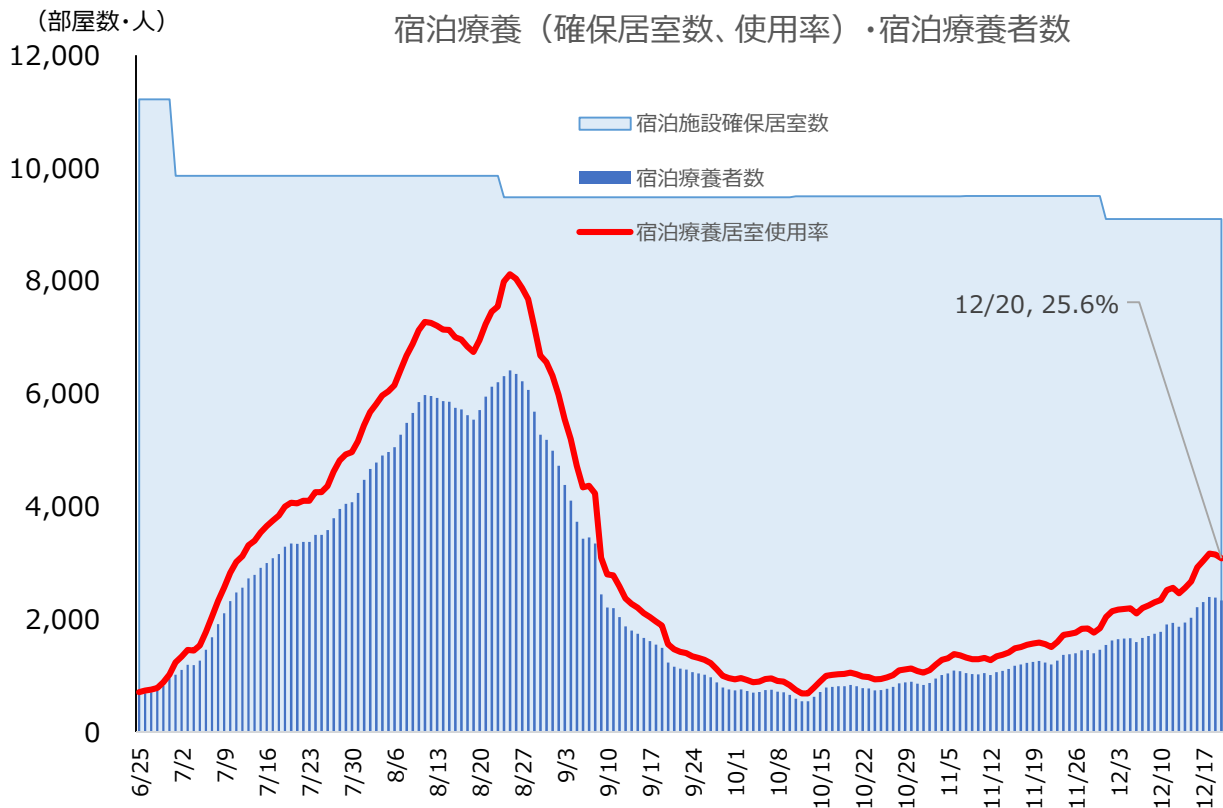
- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、12月20日時点で25.6%と増加傾向。
- ◆ 12月20日時点の自宅療養者数(参考値)は67,199人で増加傾向。

● 宿泊療養施設使用状況

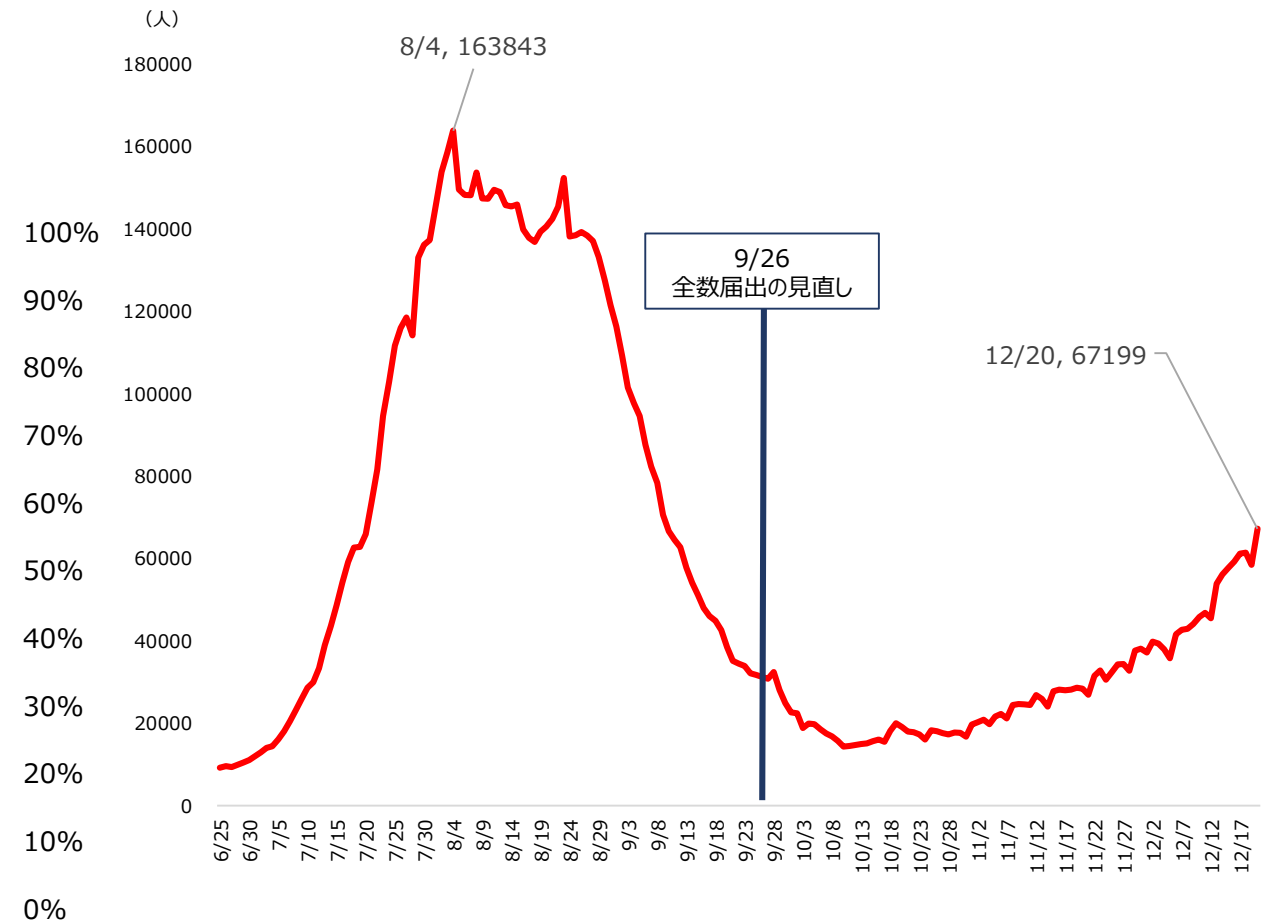
12月20日現在 **使用率25.6%**

居室使用数9,096室 療養者数 2,333人

運用率37.3% (運用居室数6,255室)



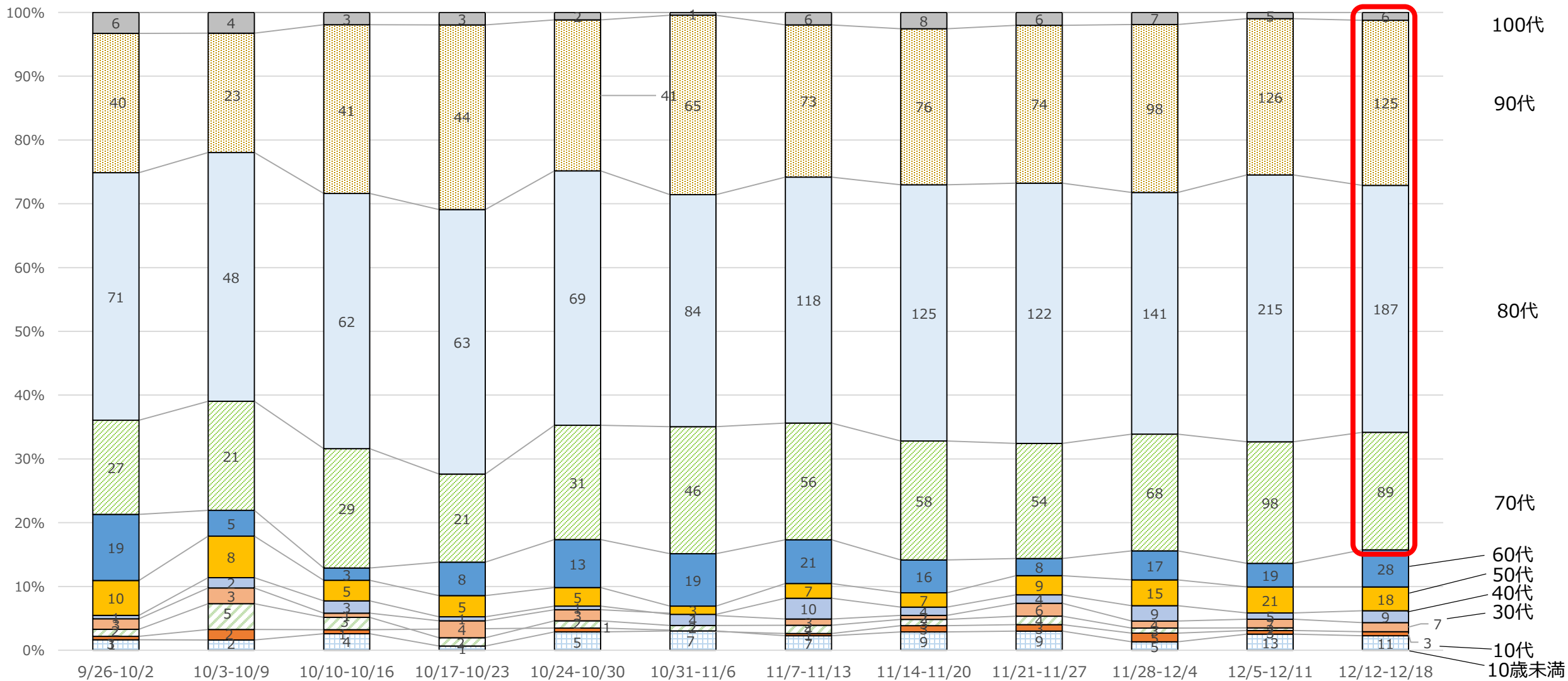
● 自宅療養者数(参考値)



※令和4年9月27日以降は参考値。
「公表日から7日前までの陽性者数 - (公表日時点の入院者数 + 公表日時点の宿泊療養者数)」で算出。

入院調整時の入院患者の年代別割合（12月18日時点）

◆ 直近の入院調整時の入院患者の年代割合は、70代以上が8割強。



※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。 ※年代不明を除く

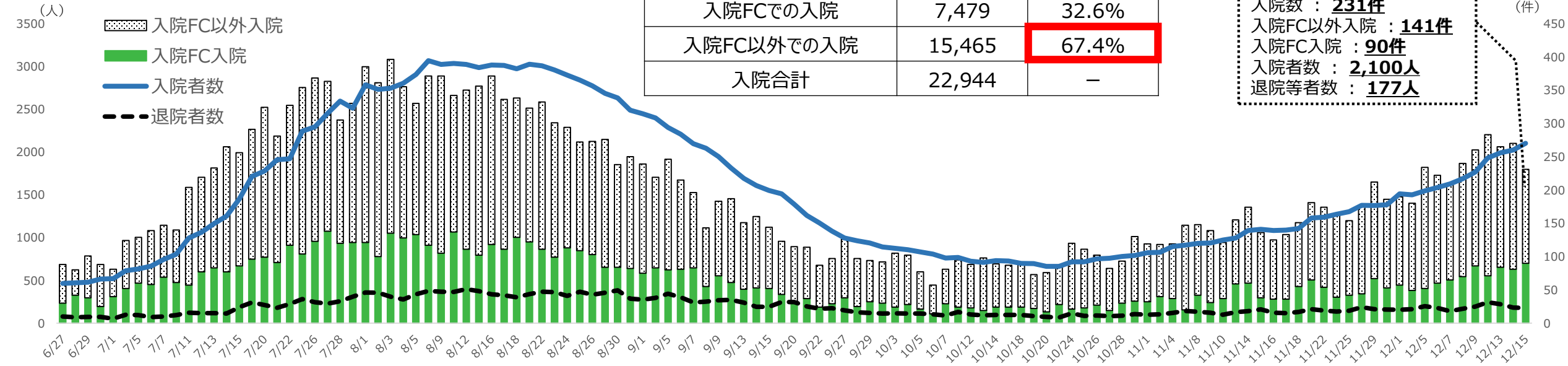
軽症・中等症病床における患者の入院調整状況

- ◆ 軽症・中等症病床入院患者のうち、入院FCを介さない調整での入院が7割弱。
- ◆ 入院患者のうち中等症が占める割合は、入院FC調整病床では9割弱である一方、圏域調整病床では約4割。

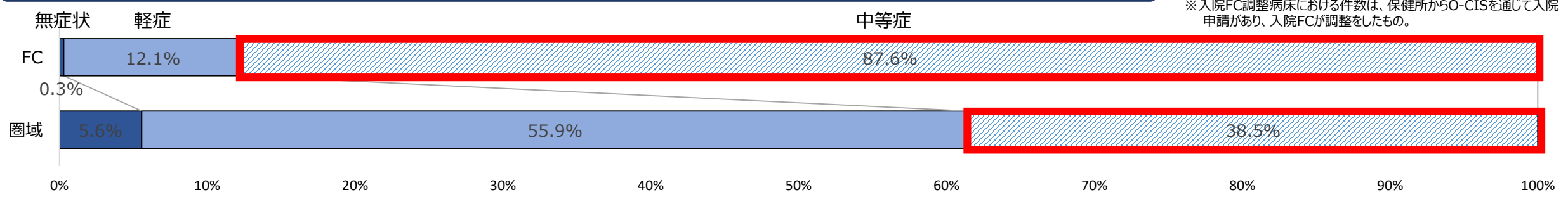
入院調整状況（12月15日時点）

6/25~12/15	調整件数	割合
入院FCでの入院	7,479	32.6%
入院FC以外での入院	15,465	67.4%
入院合計	22,944	—

入院数：231件
 入院FC以外入院：141件
 入院FC入院：90件
 入院者数：2,100人
 退院等者数：177人



入院調整時の入院患者の症状（圏域調整病床・入院FC調整病床別 ※重症・症状不明を除く）（12月12日時点）



※圏域調整病床における件数は、各保健所等の調整において入院調整を行い、「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」入力済みで重症度の入力があるもの。
 ※入院FC調整病床における件数は、保健所からO-CISを通じて入院申請があり、入院FCが調整をしたもの。

※12月20日、受入医療機関に対し、入院基準の順守を通知

一般救急患者の搬送困難事案件数

◆ 府内の救急搬送困難事案(※)について、去年は年末から増加し始めたが、今年は11月から増加傾向にあり、12月18日に200件を超えた。

(※)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（令和3年12月以降）

